

「H29小規模なリゾートホテル」の製図に関する質疑応答

【会員からの質問】

・質問メールをそのままを記載

会員です。質問します。

予測課題1の図面の歩行避難では、最も遠い露天風呂からの距離を短くするため、**非常口**を計画されていますが、これが無くても60m以下となるのですが、必要なのでしょうか？

また、昨年から**重複区間**も書かないといけませんが、この予測課題1で重複区間の書き方を示して頂けないでしょうか？

【解答】

予測課題1の図面の歩行避難では、最も遠い露天風呂からの距離を短くするため、**非常口**を計画されていますが、これが無くても60m以下となるのですが、必要なのでしょうか？

⇒日帰り客可なので非常口が無いと、重複区間20mがクリアできない。

ホテルは、重複区間30mであるが、日帰り客も利用可となると、**公衆浴場用途**が適用されて、その場合の**重複区間が20m以下**である。従って、予測課題1(日帰り客可)では、非常口を採用しないと、この重複区間20mをクリアできない(下図赤線が非常口無しの重複区間22.5m、青色が重複区間13.5m)。
なお、予測課題2と3は、日帰り客を想定していないので、重複区間は、30m以下である。

また、昨年から**重複区間**も書かないといけませんが、この予測課題1で重複区間の書き方を示して頂けないでしょうか？

⇒下図の通り、重複区間は、**2方向避難となる場所までの距離とその図面を書くこと**であり、赤線または青線の通りであり、この予測課題1なら、サウナの最短距離から、この赤字の上を書くこと、重複区間の図となる。

